

2025 年 10 月 31 日作成

研究協力をお願い

この度、本学において下記の内容にて観察研究を行うことになりました。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 内科学 I 教室

高松内科クリニック

記

研究課題名：	亜急性甲状腺炎における患者背景および臨床像の多様性
研究の目的：	本研究は、亜急性甲状腺炎患者の患者背景、臨床経過を解析し、その原因を考察することで、病態の多様性を追究します。さらに、新しい観点からの診断および適切な治療を考案することを目的としています。
研究の意義：	亜急性甲状腺炎の臨床像の特徴を明らかにすることにより、初診の時点での診断性の向上、早期治療介入が可能となることが期待されます。
研究の対象：	亜急性甲状腺炎もしくは亜急性甲状腺炎の疑いと診断された方
該当期間：	2004 年 4 月 1 日 ～ 2017 年 11 月 12 日
研究の方法：	紙カルテより年齢、性別、発症時期、疼痛・発熱の有無、疼痛部位、当院で施行した既存の血液検査項目（FT4、FT3、TSH、血中サイログロブリン、白血球数、CRP、甲状腺自己抗体）、甲状腺超音波検査所見（腫大程度・低エコー領域）、治療内容（ステロイド投与量・投与期間）、治癒までに要した期間のデータを抽出、解析することで、亜急性甲状腺炎の特徴を検討します。当院でのデータは、大阪医科薬科大学 内科学 I 研究室にて解析し、既存情報は本院にて匿名化し、大阪医科薬科大学にて保管します。
研究期間：	研究実施許可日（2017 年 11 月 13 日）～2030 年 10 月 31 日
個人情報の利用目的、開示等の求めに応じる手続き：	

対象者の方を特定できないように対処したうえで、本臨床研究の成果を学会や論文等で公表します。対象者の個人情報については、大阪医科薬科大学 内科学Ⅰ教室内のパソコン内にパスワードを用いたファイルに、匿名化した上で保管・取り扱います。対象者の方（その代理人）より、本研究で保有する個人情報の開示を求められた場合には、対象者の方（その代理人）の同意する方法により情報を開示いたします。

個人情報の取り扱いに関する相談窓口：

大阪医科薬科大学 内科学Ⅰ 稲葉 惟子

利益相反について：

本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、本研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。

当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。

研究者名：

研究責任者：	大阪医薬科大学 内科学Ⅰ	助教	稲葉 惟子
研究分担者：	大阪医薬科大学 内科学Ⅰ	教授	今川 彰久
	大阪医薬科大学 内科学Ⅰ	講師	寺前 純吾
	大阪医薬科大学 内科学Ⅰ	非常勤医師	峠 かきの
	大阪医薬科大学 内科学Ⅰ	非常勤講師	酒井 聡至
	大阪医薬科大学 内科学Ⅰ	非常勤医師	忌部 歩
共同研究機関・研究責任者	高松内科クリニック	院長	高松 順太

※ 本研究にて取得しました情報は、厳重な管理を行い、本研究以外の目的では利用いたしません。

※ 対象者の方（その代理人）の申し出により、他の対象者の方の個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、本臨床研究計画及び方法に関する資料を入手又は閲覧できます。

※ ご自身の既存情報を研究に使用させて頂くことに対して同意頂けない場合は、下記の申し出先までご連絡ください（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。申し出をされた場合は、本研究への利用はいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、データを研究結果から削除することができかねますので、予めご了承ください。

問い合わせ、参加拒否の申し出先：〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学 内科学 I

担当者： 稲葉 惟子

T E L： 072-683-1221（代表）

内 線： 56683